

機械実習

教科	工業	単位数	3	学科・学年・コース	機械科3年生
使用教科書	「機械工作」(実教出版)			副教材等	自作テキスト

◇ 学習の到達目標 ◇

機械技術に関する基礎的な技術・技能を身に付け、各分野の実習課題を通して総合的な理解を深めます。

◇ 科目の特色 ◇

年間を通して4つの実習課題をローテーションします。前期では旋盤、フライス、危険物から1つを選択して学習します。後期はパソコン実習、CAD実習を学習します。協調性・責任感・勤労意欲など技術者として望ましい態度や習慣を身に付けます。

◇ 学習の計画 ◇

月	単 元 名	主 な 学 習 活 動
4	1. 旋盤実習	・技能検定2・3級旋盤加工合格に向けて、実技・学科の学習をする。
5	2. フライス実習	・技能検定3級フライス加工合格に向けて、実技・学科の学習をする。
6	3. 航空機実習	・中日本航空専門学校において、航空力学の基礎を学習する。
7	4. 原動機実習	・エンジンの分解・組立を通して、自動車の構造について学習する。
9 12	5. レーザ加工実習	・レーザー加工機による作品の製作を通して、CAD・CAMデータ製作の基礎知識とレーザー加工機の取り扱い方の基礎を学習する。
1 2	6. CAD実習	・CADによる図面製作の基礎知識と技術の学習をする。

◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

関心・意欲・態度	各実習に関心を持ち、その基礎的な知識と技術の習得に向けて意欲的に取り組む態度を身に付けているか。
思考・判断・表現	各実習に関する事柄の理解と思考を深め、基礎的な知識を活用して、適切に判断する能力を身に付けているか。
技能	各実習に関する知識を身に付け、具体的に表現することができるか。
知識・理解	各実習に関する事柄を知り、知識を深め、性質等を知っているか。

このため評価は、具体的には次のものを対象とします。

- ①学習態度 ②製作作品 ③実習レポート

また1年間の評定は前期・後期の年間を通して、上記の内容を総合的に判断して決定します。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

安全作業に充分努め、正しい服装・整理整頓を心がけて実験実習を行いましょう。また、実験実習後のレポートの提出期限を守りましょう。